

Fujica **35**

Auto-M

フジカ35オートM・撮影注意メモ

- ① まずフィルムを入れて、フィルムカウンターをSから1まで進ませます。普通のカメラですと、この空写しはフィルムを巻上げて、シャッターを押す、という動作でいいのですが、このオートMは、暗いところではマニュアル切替えレバーを押しながらでないと、シャッターは切れません。
 - ② 次にレンズキャップをはずします。
 - ③ 内蔵露出計を連動させるには、まず使用フィルムの露光指数を表示窓に出すことが必要です。
 - ④ 次に完全自動セットリングを回し、AUTOをマークに合せます。まず、フィルムを巻上げ、マニュアル切替えレバーを押しながらセットリングを回して下さい。
 - ⑤ フジカオートMのマジック・シャッターはその名の通り、くるくると、よく動いてくれます。つまり今までのEEカメラですと、シャッター速度は自分で決め、シャッターボタンを押すと、絞りが自動的に変化して、その時のシャッター速度とつりあう正しい露光をしてくれたのです。それでも露光不足のときは、シャッターボタンがおちない、(マニュアルにしておくと露光の過不足にかかわらずシャッターが切れてしまいます。)ということになりましたが、このオートMでは、そういう場合、正しい露光になるようシャッター速度が変化してくれるのです。シャッタースピードを正確にセットしわすれても、安心して撮影できるオートのヒミツがここにあるわけです。
- 以上がオートMの撮影についての概略です。くわしくは、第1ページよりお読み下さい。

フジカ35オートMの諸機構

レンズ	フジノン-R 1:2.8 f = 47 mm 3群4枚構成 絞り目盛 2.8 ~ 16
シャッター	コパルマジック B, 30, 60, 125, 250, 500 倍数系列, 等間隔目盛, MX接点内蔵
ファインダー	採光式ブライトフレームファインダー, パララックス完全自動匡正 倍率 0.6 倍
距離計	一眼二重像式連動距離計 有効基線長 41.7 mm
焦点調節	ヘリコイドスタイル 前玉回転式
距離目盛	∞ ~ 0.8 m
E E 方式	内蔵露出計による完全自動式 (マニュアル可能) シャッタースピード選択型プログラム方式, 連動範囲 LV 8 ~ 17 (ASA 100) 露光調整装置つき, 露光不足時はシャッターが切れなくなる
フィルム巻上げ	レバー式一回巻上げ シャッターセルフコッキング 二重露光防止装置つき
フィルムカウンター	順算式自動復元
フィルム巻戻し	巻戻しボタンを一度押してクランクハンドルで巻戻す
フィルター取付マウント	ねじ込み式 ねじ径 35.5 mm
寸法・重量	140×88×73 mm 720 g
使用フィルム	J 135 (35 mm フィルム) 画面サイズ 24×36 mm
付属品	皮ケース レンズフードとハンドバンドは別売

フィルムを入れましょう

COLOR (カラーなら)

露光指数

10



フジカラーリバーサル 美しい発色と鮮鋭な描写。スライド映写で一家そろって楽しむには、もってこいのフィルム

50



フジカラーN 50 アルバムをカラーで飾るには、プリント代が安くて、色彩の美しいネガカラーが好適といえます。

100



フジカラーR 100 光量のすくない室内とか、夜の街、ネオン、スピードの早いスポーツなどのスライド撮影に。

BLACK & WHITE (普通のフィルムなら)

露光指数

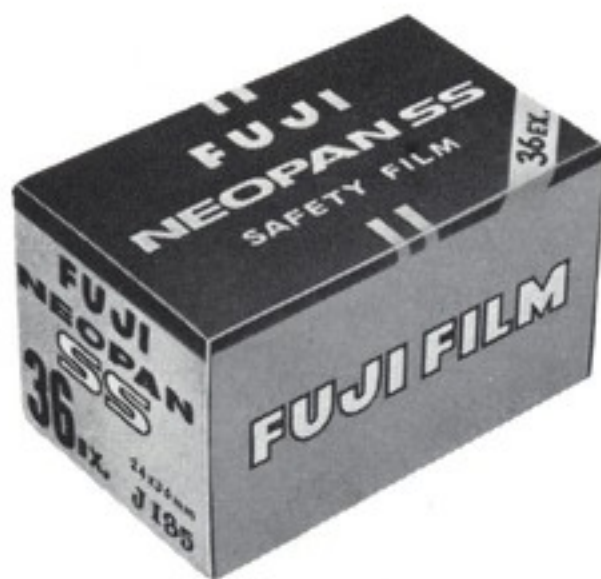
32

100

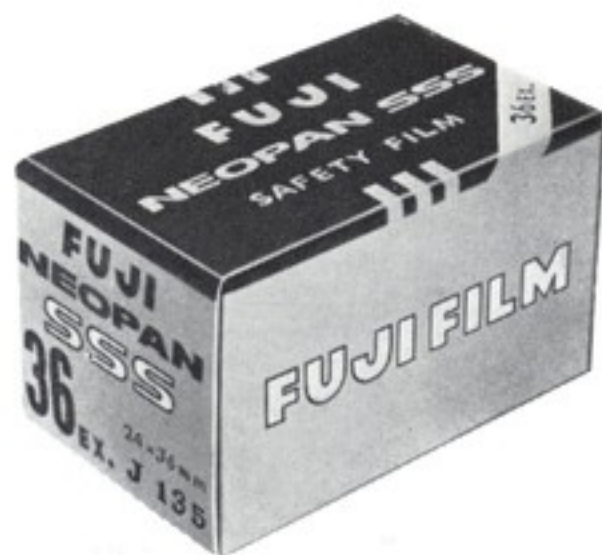
200



ネオパン F 一般撮影用のほか複写、大倍率引伸のための撮影など、商業写真用としても最適の超微粒子フィルム。

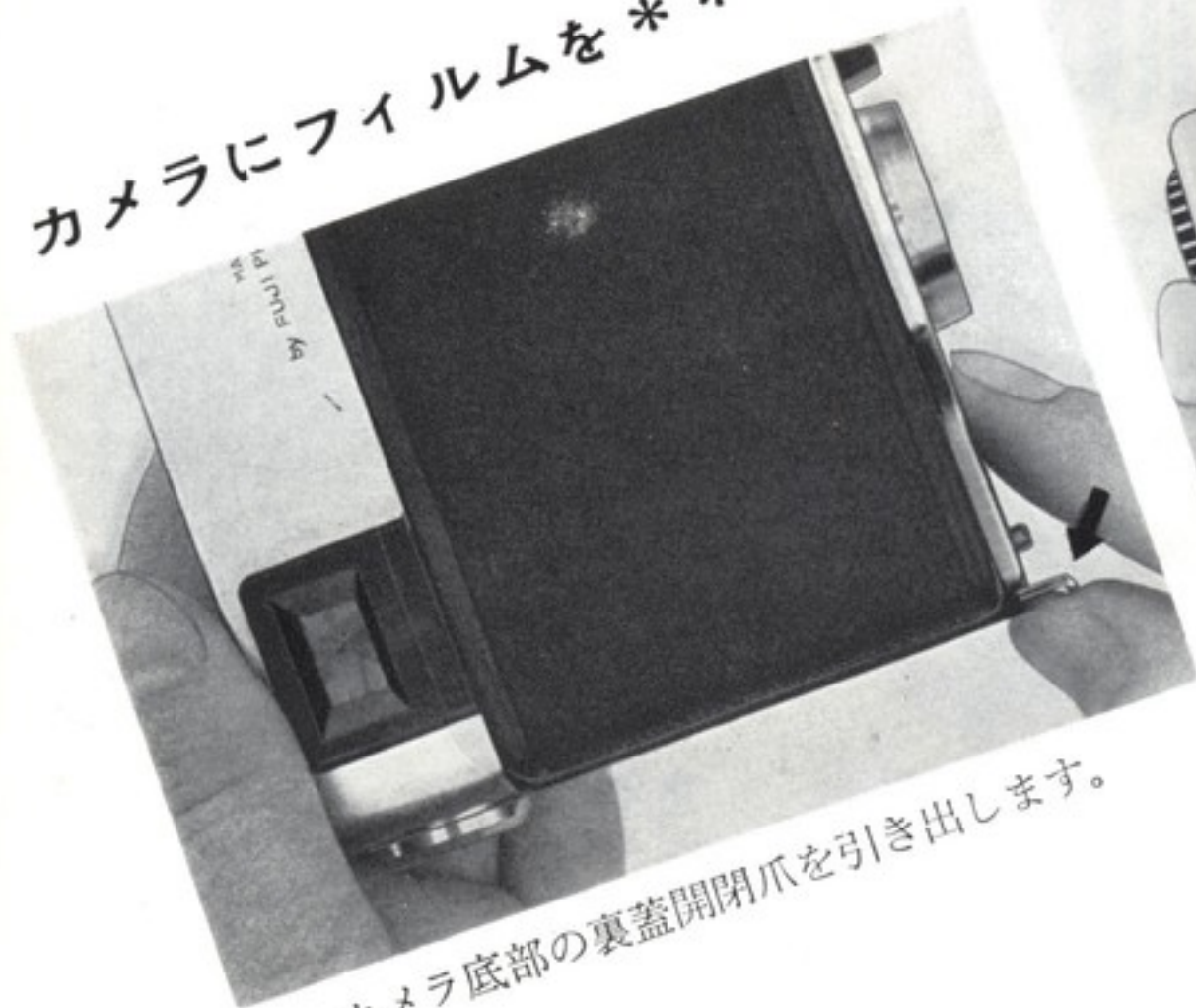


ネオパン SS 人物、風景、スナップ、夜間撮影、舞台や室内、スポーツ撮影など、何にでも向く万能フィルムです

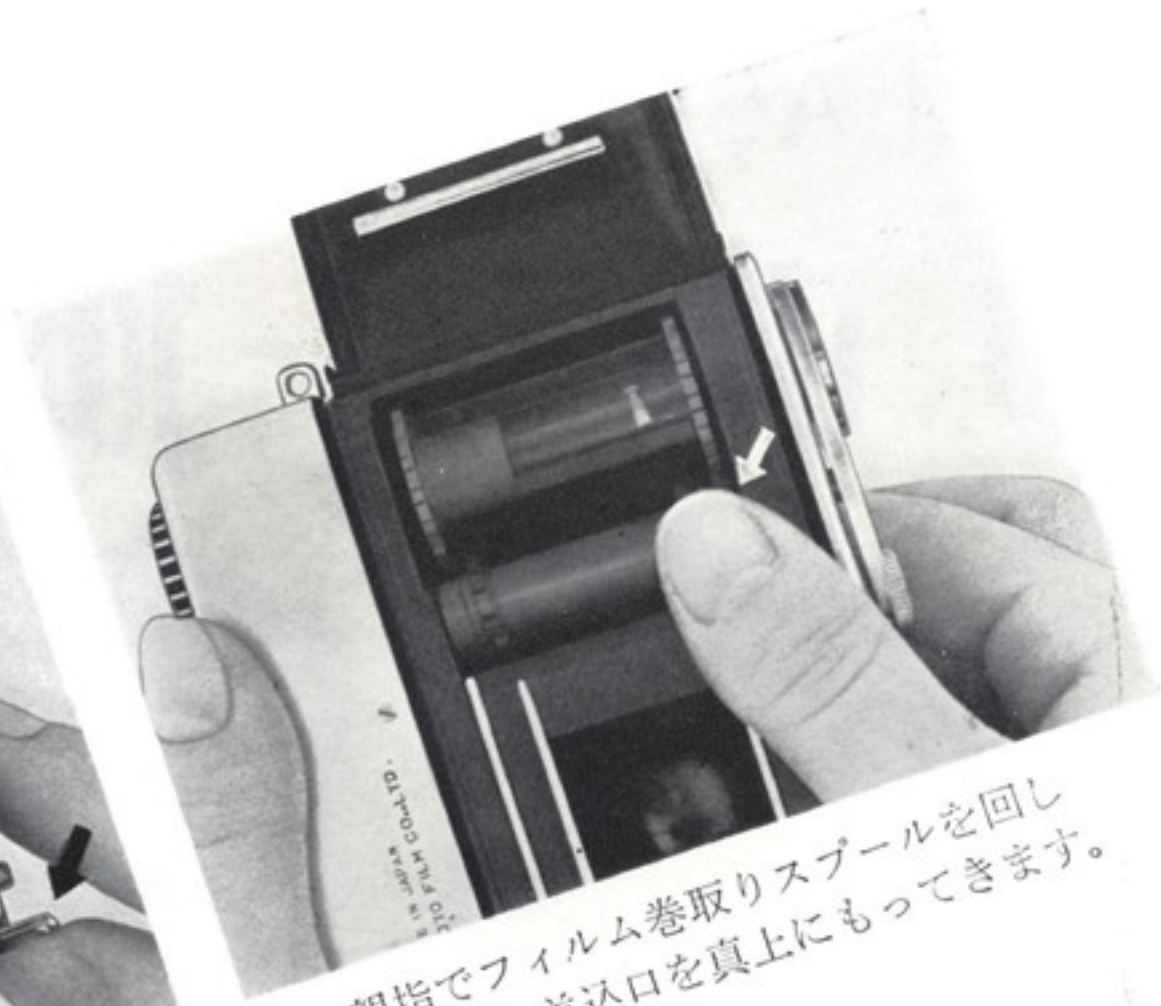


ネオパン SSS 特に夜間用として適し、増感現像処理により400から1600の超高感度フィルムとして使用できます

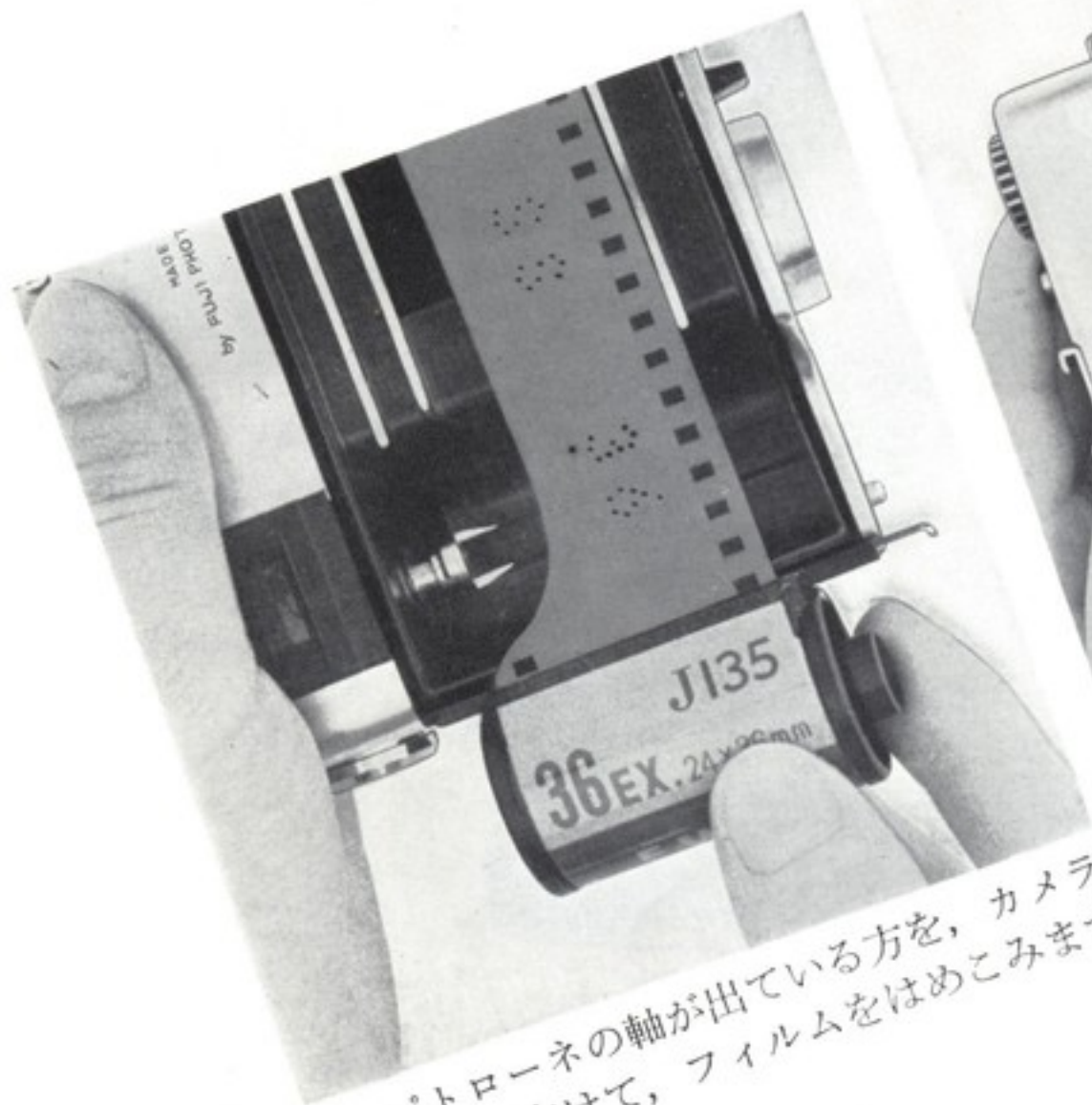
カメラにフィルムを*****



カメラ底部の裏蓋開閉爪を引き出します。



親指でフィルム巻取りスプールを回し
フィルム差込口を真上にもってきます。



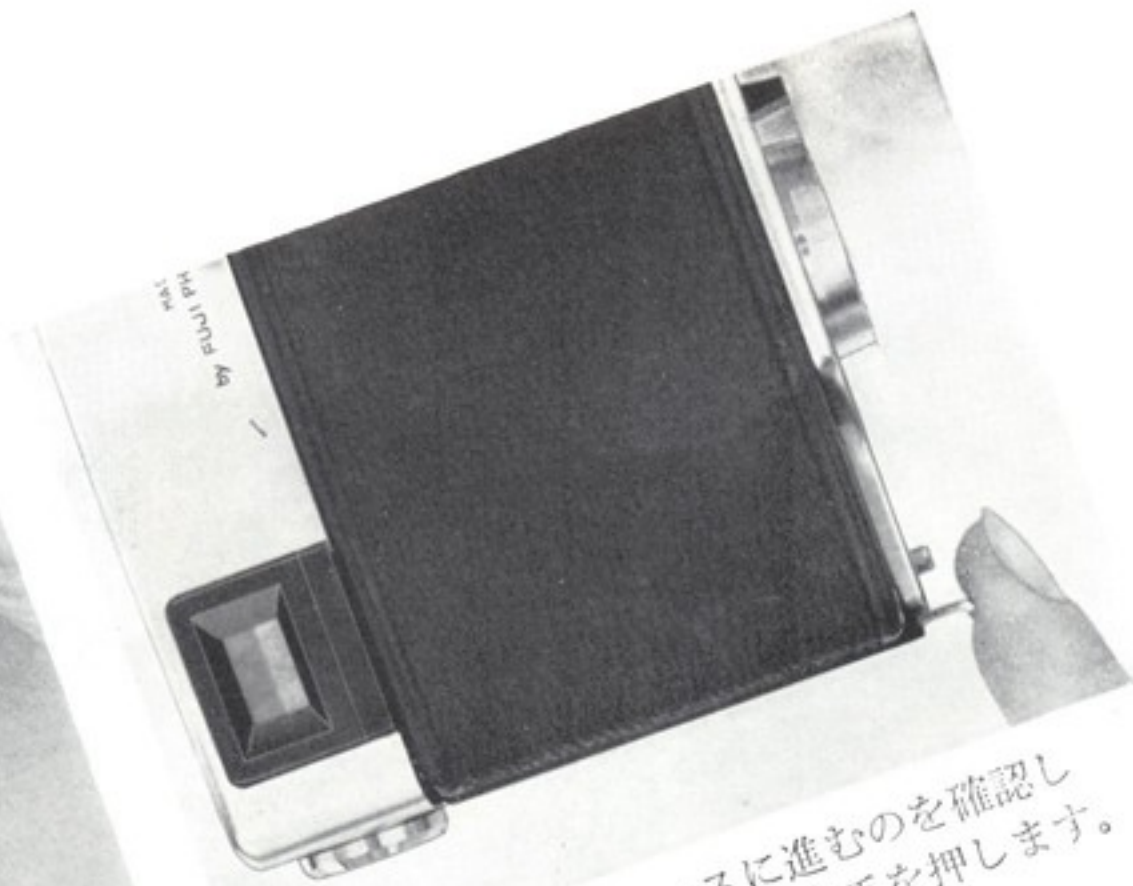
パトローネの軸が出ている方を、カメラ
底部に向けて、フィルムをはめこみます。



フィルムの先端を巻取りスプールに充
分に押しこむように差込んで下さい。

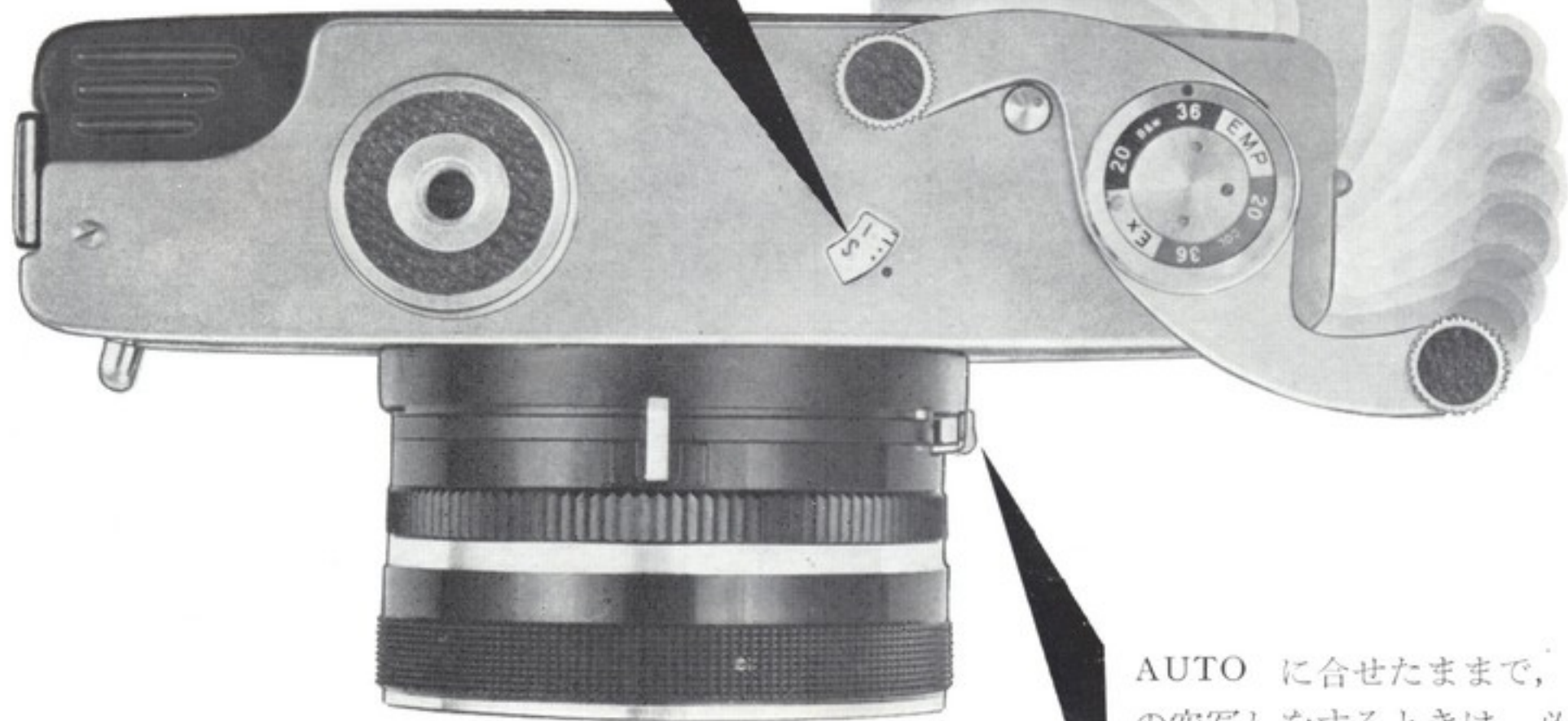


フィルムが、スプロケットのギヤと
かみあうよう、静かに巻上げます。



フィルムがスムーズに進むのを確認し
たら、裏蓋を閉じ、開閉爪を押します。

Sから1まで つぎにフィルムカウンターをスタートの“S”から“1”が出るまで巻上げます。その際、暗いところではマニュアルレバーを押さないとシャッターは切れません。



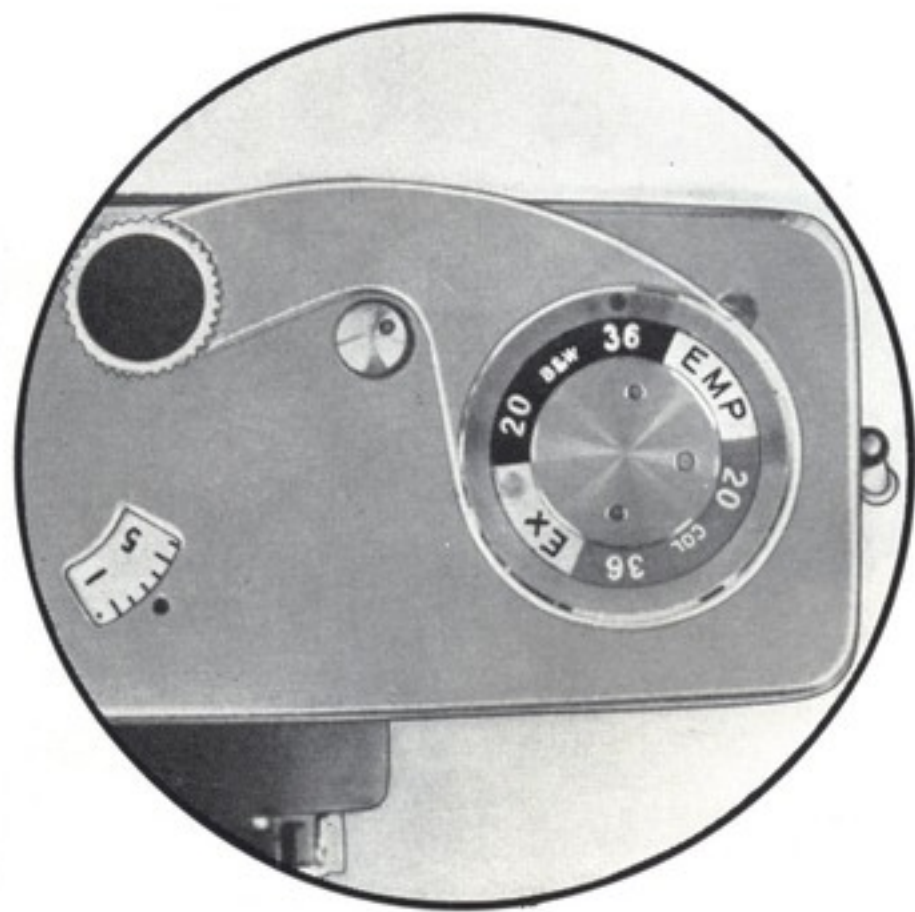
AUTO に合せたままで、この空写しをするときは、必ずマニュアルレバーを押し、それからシャッターを切ること

フィルムの進行を確認



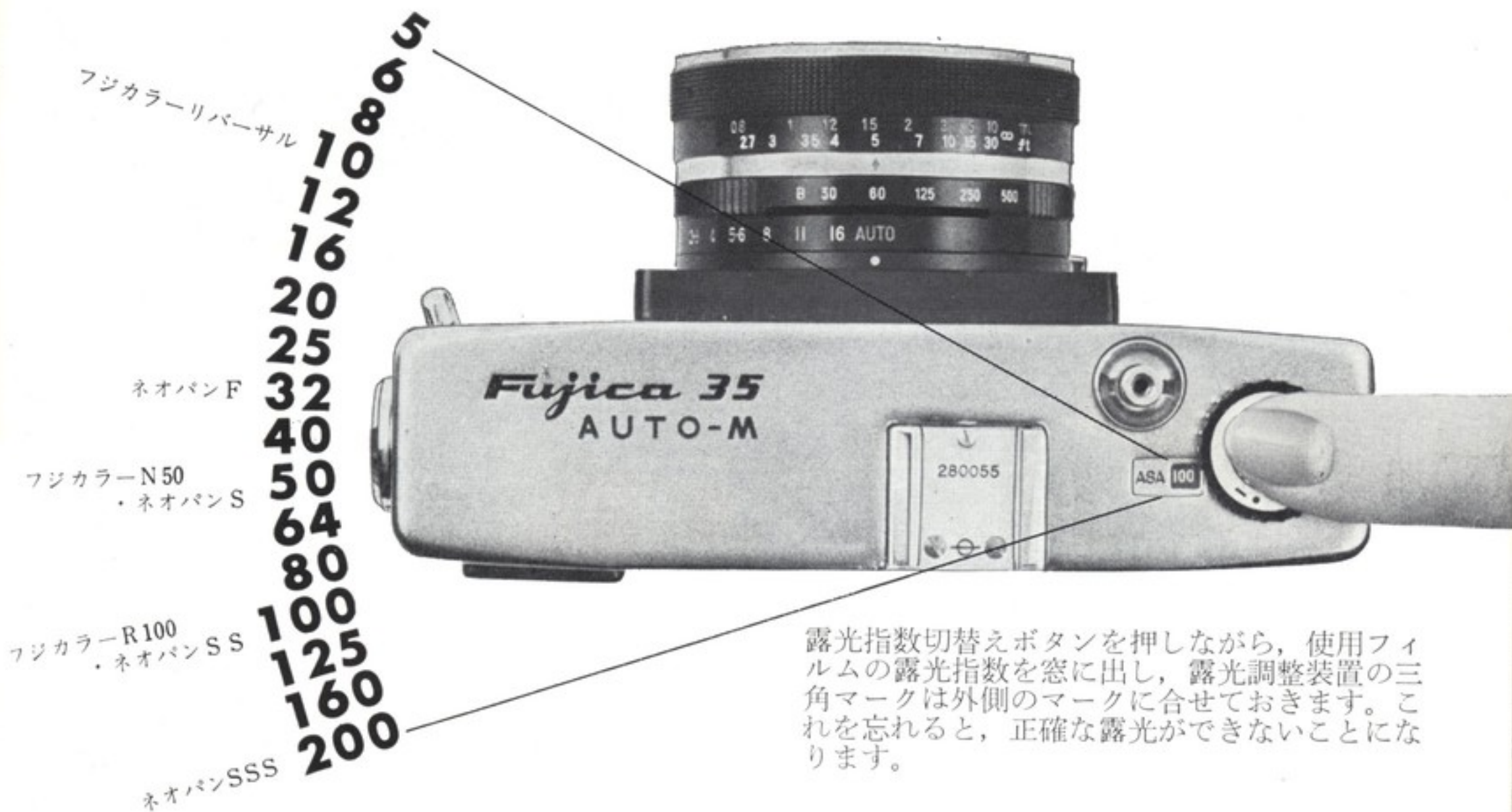
フィルムのゆるみをなくすために、巻戻しレバーを手に抵抗を感じるまで矢印の方へ回す。それ以後は一枚巻上げごとに、このクランクが回るので、フィルムの進行を確認できる。

フィルムの種類を……



装填したフィルムを忘れないためにも、誰が使っても、すぐにそのフィルムの種類がわかるように、フィルムを入れたら、このフィルム種別指示板を回してメモ代わりにすること。

さあ 撮影の準備です……露光指数を合わせて下さい



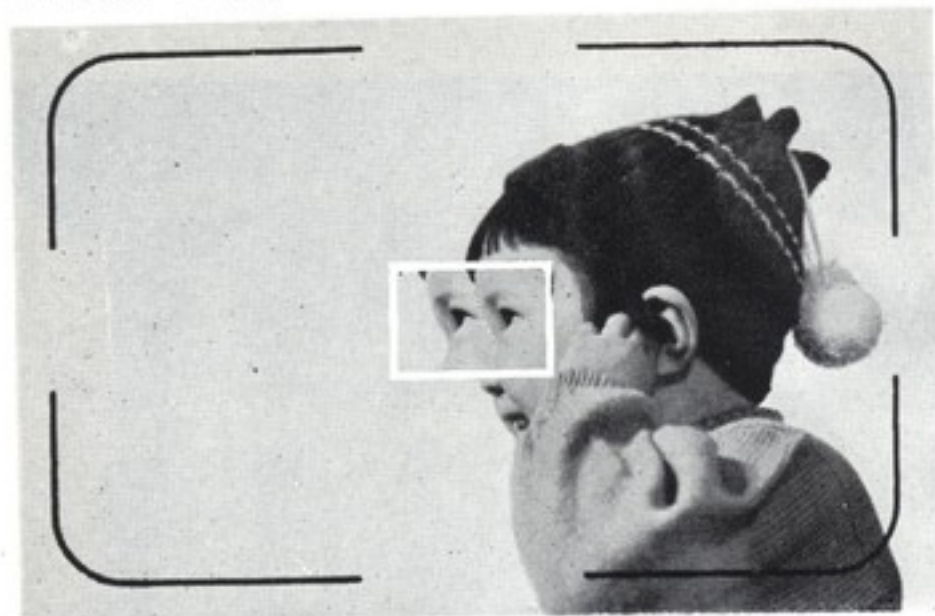
露光指数切替えボタンを押しながら、使用フィルムの露光指数を窓に出し、露光調整装置の三角マークは外側のマークに合わせておきます。これを忘れると、正確な露光ができないことになります。

まず巻上げる……これを忘れると他の部分が動きません

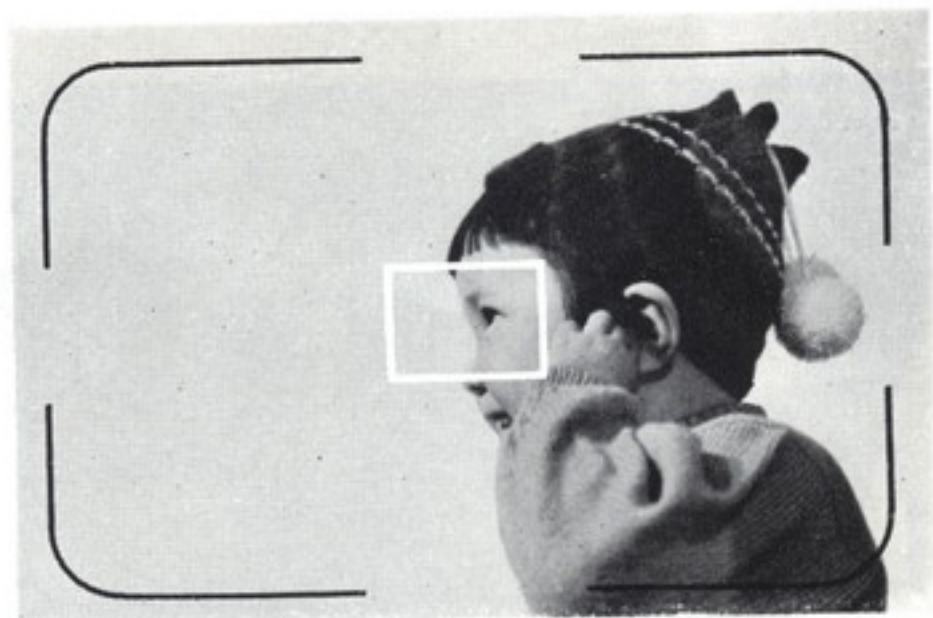


まず完全自動セットリングがオートに合っているか確かめます。合っていない場合は、フィルムを巻上げないと、完全自動セットリングも、シャッター速度セットリングも動きません。まず巻上げてオートにセットすれば、シャッター速度セットリングも動きます。

距離を合わせて

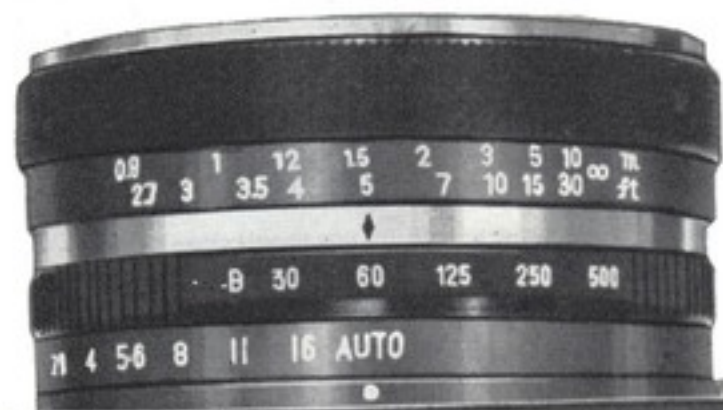


ピントが合っていない



ピントが合った

↑ファインダーを覗くと、被写体の像が、中央で二重に見えます。これを一つになるよう、焦点調節リングをまわせば、ピントが合ったことになるのです。



ファインダーの中の金色の枠が写る範囲です。この枠は近景に焦点を合せると右下へ自動的に動いて（視差匡正装置）いつも正確な視野を示してくれます。⇒

適確なフラインダー視野・・・頭の切れ、心配はありません。



準備完了！シャッターを押しなさい！
あとはマジックシャッターがひきうけます



あなたの
シャッタースピードが

$\frac{1}{30}$ でも

$\frac{1}{60}$ でも

$\frac{1}{125}$ でも

$\frac{1}{250}$ でも

$\frac{1}{500}$ でも

オール

OK!



シャッタースピードをきめ忘れても、AUTOにセットしてさえおけば自動的に適正露光となるように、カメラが一手に引受けてくれます。

夢のマジックシャッター**

$\frac{1}{125}$

にセットしてあっても



$\frac{1}{250}$



$\frac{1}{500}$

で撮影される

こうした明るい被写体を前に、シャッターが $\frac{1}{125}$ にセットしてあるとき(フィルムはSS)オートMはまず絞りを動かし、F16まで絞ってゆきます。F16 $\frac{1}{125}$ でも明るすぎる時は、シャッター速度が上のように変化してくれるのです。(この場合シャッターリングは移動しません。)

そのひみつ*****



$\frac{1}{125}$

にセットしてあっても



$\frac{1}{60}$



$\frac{1}{30}$

で撮影される

左頁の例と同じように、 $\frac{1}{125}$ にセットしてあっても、暗い被写体の前では、まず絞りがF 2.8の開放となり、ついでシャッター速度が変化しはじめて、F 2.8でちょうど適正露光となるシャッター速度を選び、組合わされ自動的に撮影されるのです。



マジックシャッターはどう動くか

- [1] 絞りだけで適正露光にならぬ時は、シャッタースピードが変化する あるシャッタースピードにセットして、シャッターボタンを押すと、まず普通のEEカメラのように、絞りが調節されて適正露光をあたえます。そのとき、絞りの調節だけで適正露光にならぬ場合、普通のカメラならば撮影不能となりますが、このマジックシャッターでは、シャッタースピードが自動的に変化して、適正露光をするようになっていきます。このオートMが夢のカメラといわれる所以です。
- [2] それでも露光不足のときは F 2.8 $\frac{1}{30}$ 秒が露光の限度ですから、それ以上、暗い被写体の時は、シャッターボタンを押してもシャッターは切れません。それでもシャッターを切りたい時は、マニュアルに切替えてB（バルブ）で適正露光をして下さい。
- [3] カメラブレに注意 前述のようにシャッタースピードが自動的に変化しますから、スピードリング上では $\frac{1}{500}$ 秒にセットしてあっても、暗い所では $\frac{1}{30}$ 秒で写しているかも知れません。ですからカメラの保持は、いつもしっかりとして下さい。
- [4] 次の撮影のときは、最初にセットしたスピードでスタート 実際のシャッタースピードそのものは、あなたがリング上にセットしたシャッタースピード（例えば $\frac{1}{250}$ 秒）とは異っているかも知れませんが、一枚撮り終って、シャッターを巻上げると、その時のシャッタースピードは元の $\frac{1}{250}$ 秒に戻っています。
- [5] シャッターをB（バルブ）に合わせるには……完全自動セットリングをオートにセットしてあると、シャッター速度セットリングはB（バルブ）まで動きませんから、オートを必ず解除してからリングを廻して下さい。反対にBにセットしてあるとオートにセットできませんから、Bを解除してからセットリングを動かして下さい。





十……のマークは

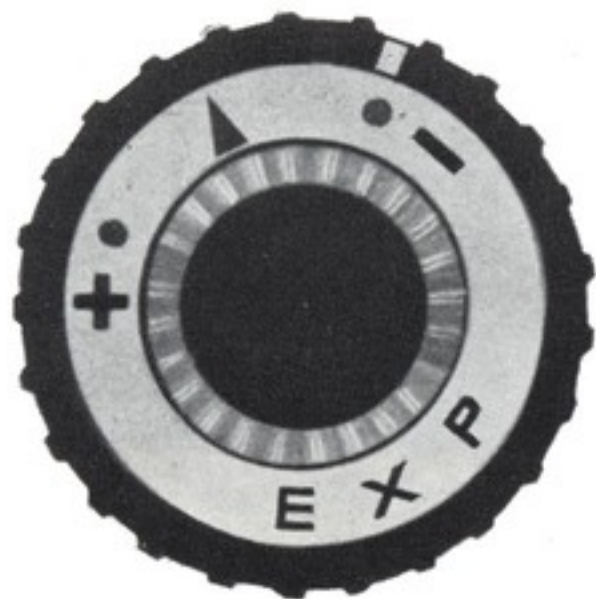
フジカ35オートMには、微妙な露光を調節する、露光調整装置がついています。プラスのマークは露光を2倍に増やすことを意味し、マイナスのマークは逆に露光を $\frac{1}{2}$ に減らすことを意味しています。ですから標準露光の撮影では中央の三角マークを合せて使用して下さい。



—……のマークは

この装置は、被写体に近寄ることが出来なかったり、近寄らないで露光をいくらか加減したい時などに使います。

被写体が左頁の例のように逆光で、しかも、肌を感じを十分だしたい時は+側で加減し、右の写真のように白と黒のコントラストが強くと、白い衣裳の質感がとんでしまう恐れがあるときは-側に合せて撮影します。





こんなときは気をつけましょう



露光不足

太陽がさんさんと、カメラにふりそそいでいるのに、写される女性は日陰にいるという場合、EEカメラの常として、露光はどうしても日向の部分に感じてしまいます。これをそのままですと右頁上例のように、露光不足となりますから、そういった時はカメラ上部の露光調整装置を活用して、露光をプラスして下さい。または、上掲写真のように、モデルに近寄って露光を測り（シャッターボタンを中途まで押して露光をきめ）元の位置に戻って撮影しても、同様の結果が得られます。



適正

レリーズとセルフタイマーは……



カメラブレを防ぐために、バルブ撮影のときはレリーズを……

一家そろっての記念撮影に、旅行に、セルフタイマーさえあれば、ご自分もカメラにおさまることができるというもの。



附属品には……



(別売り) ハンドバンド ¥ 450
レンズフード ¥ 500
(黒革ケース)

より良い写真を撮るために……

○オートでフィルターを使うときは……例えば使用フィルムがネオパンSSで露光倍数2倍のフィルターを使ったとしますと、100 (ネオパンSSの露光指数) \div 2 (フィルター倍数) = 50で、この50という数字をカメラの露光指数表示窓 (9頁参照) に合わせておけば O.K です。

○オートで絞りの効果を上手に生かすには…例えば $\frac{1}{500}$ よりも $\frac{1}{30}$ にシャッター速度を合わせておいたほうが、より小絞りが得られますので、前後に広くピントが合いますから、大人数の集合写真や、前景のある風景写真等に活用して下さい。

○マニュアル切替えレバーを押しながらシャッターボタンを押せば……シャッターは切れますが、この場合絞りは最小絞りになってしまいますから御注意下さい。

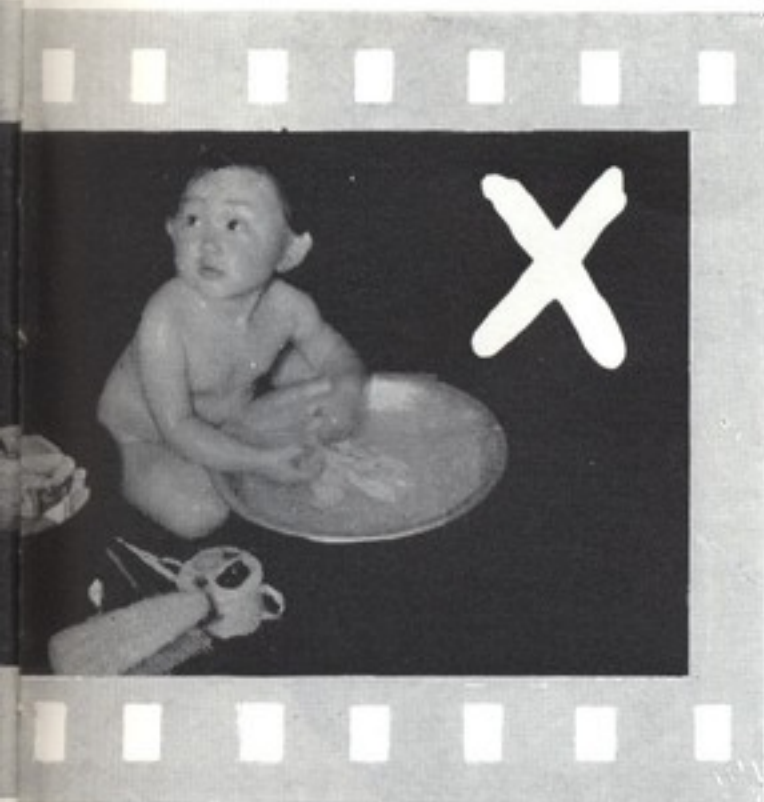
フラッシュ撮影をおのぞみなら……暗いところはこれでOK



F 2.8 $\frac{1}{30}$ 秒というのが、このカメラで写る限界です。それ以上くらい所は閃光電球か、スピードライトを使いましょう。スピードライトのときはX接点にソケットを、閃光電球のときは次頁の表にそって、M級の閃光電球ならばM接点に、F級ならばX接点に（ただし $\frac{1}{125}$ 以下）接続します。このようなシンクロ撮影を行うときは、必ずマニュアルに切換えてやることです。つぎに希望のシ

フラッシュ同調表

閃光電球の種類	シャッター接点	
	M	X
M 級	全速度同調	1/60以下
F 級		1/125以下
スピードライト		全速度同調



シャッター速度と露光指数の組合わせに対するガイドナンバー(閃光球の箱に書いてある)を撮影距離で割れば、それが適正露光の絞り値となります

スピードライト

フラッシュ



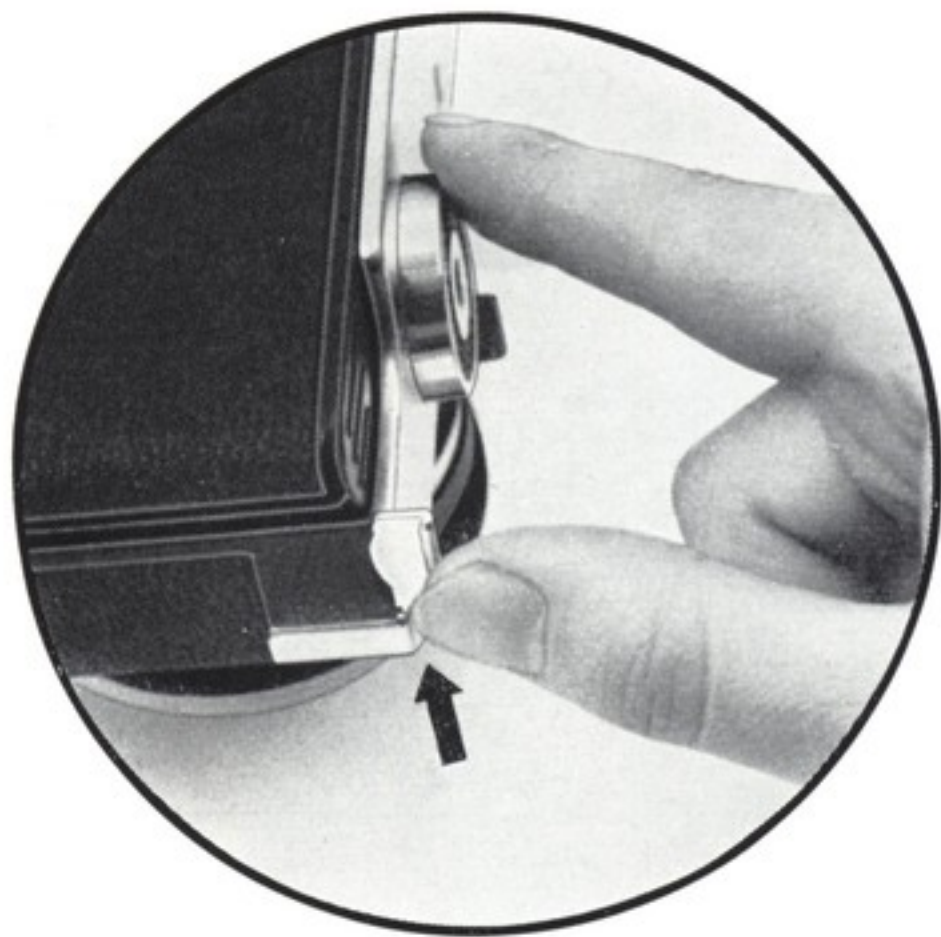
フィルムを取り出しましょう



一本撮りおわったら、カメラ底部にある巻戻しボタンを引込むまで押します。



巻戻し用クランクを起し、巻戻します。抵抗感がなくなった時がフィルムの巻戻し完了です。

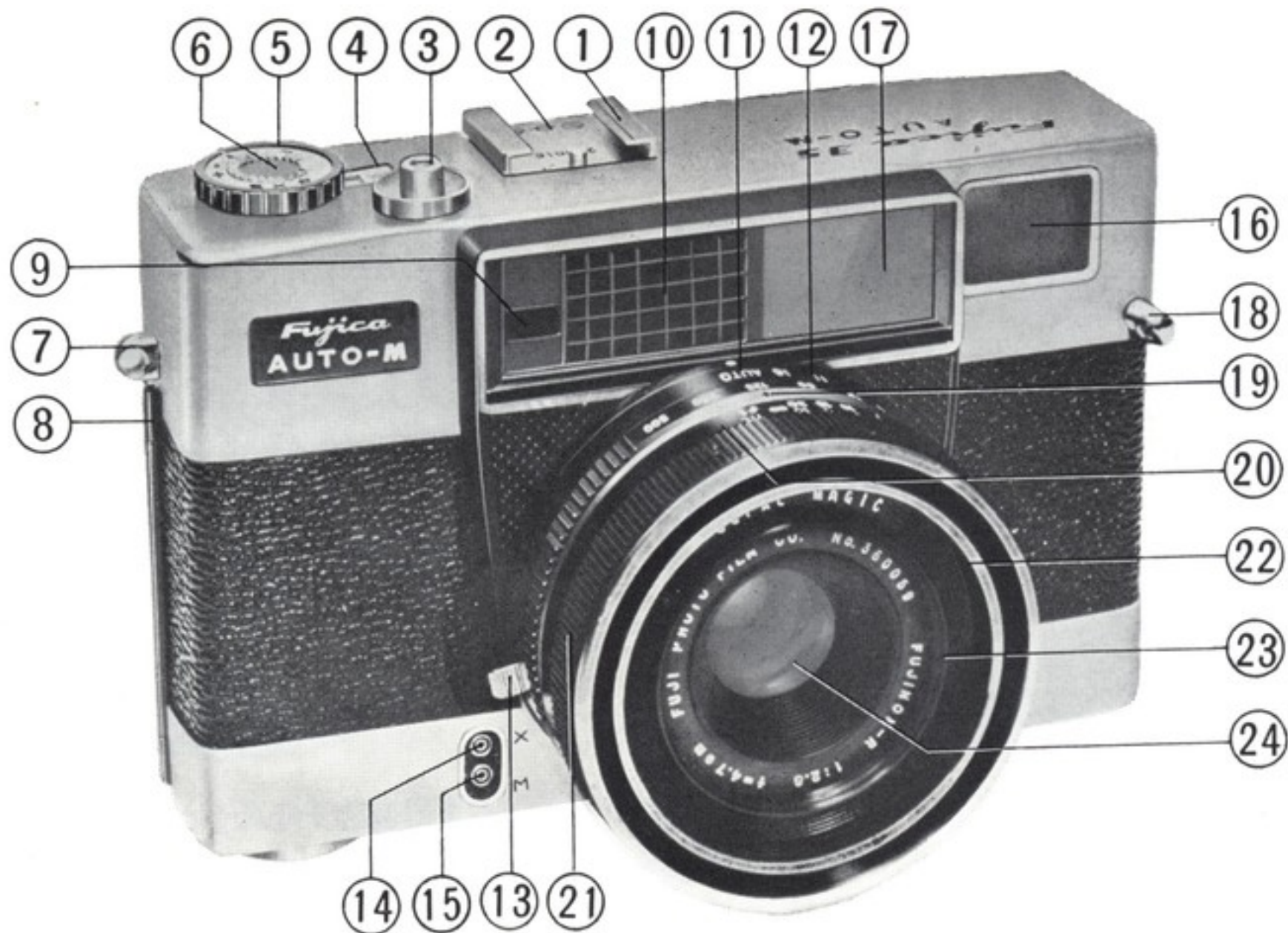


カメラ底部の裏蓋開閉爪を引き出し、蓋をあける。撮影済みフィルムは、先端を折り曲げて、



上の写真のようにグリーンボックスの封をすれば、二重撮影の恐れはなくなります。

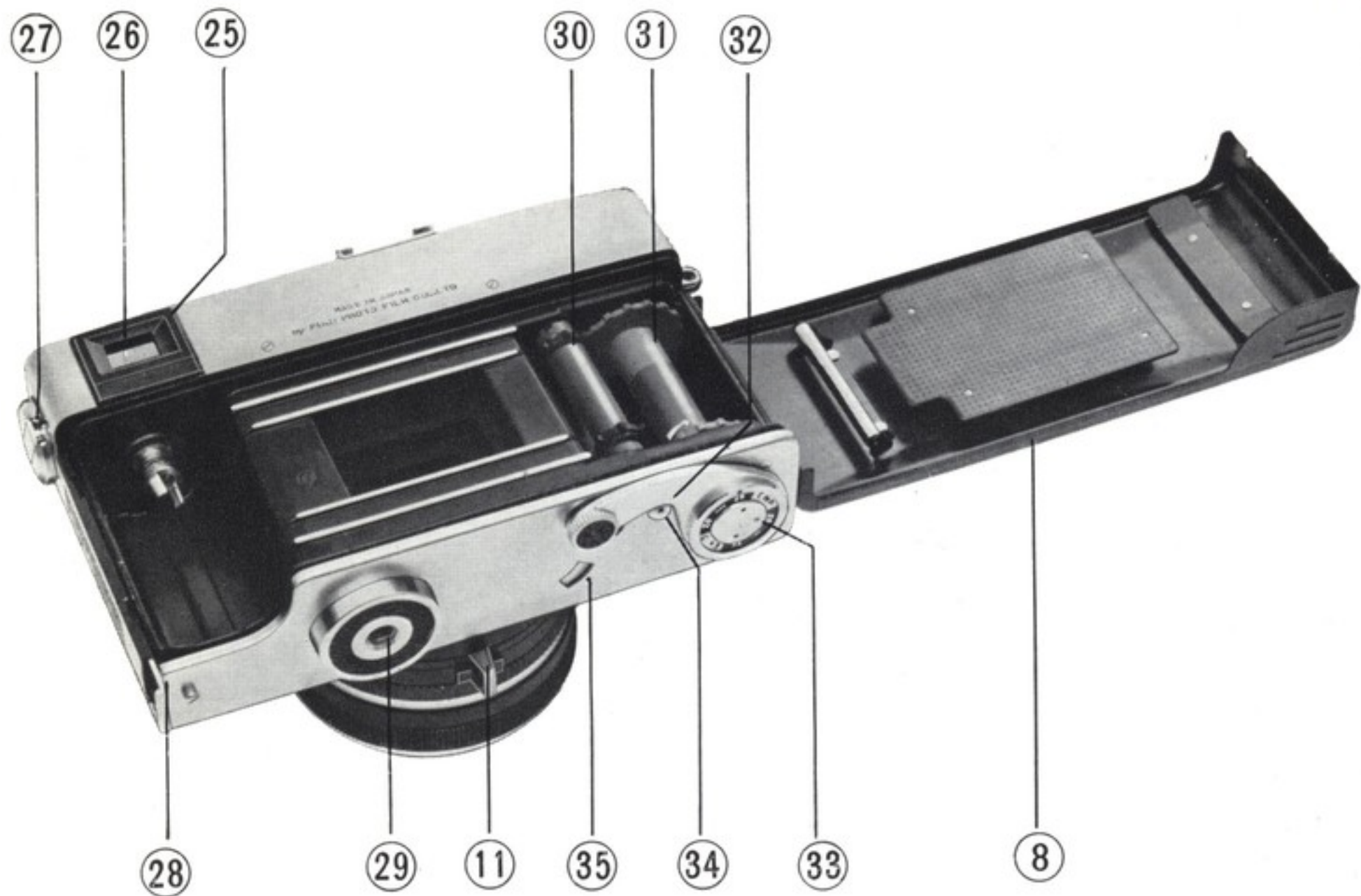
各部名称



各部名称

- | | | | |
|----|---------------------|----|-------------|
| 1 | アクセサリシュー | 13 | マニュアル切替えレバー |
| 2 | フィルム位置マーク | 14 | X接点用ソケット |
| 3 | シャッターボタン | 15 | M接点用ソケット |
| 4 | 露光指数表示窓 | 16 | ファインダー窓 |
| 5 | 露光調整装置 | 17 | ゴールドンフレーム窓 |
| 6 | 露光指数切替えボタン | 18 | 吊環取付部 |
| 7 | 吊環取付部 | 19 | 距離目盛指標 |
| 8 | 裏蓋 | 20 | 距離目盛 |
| 9 | 距離計窓 | 21 | 焦点調節リング |
| 10 | 受光板 | 22 | フード取付部 |
| 11 | 完全自動セットリング及び絞り調節リング | 23 | フィルター取付ねじ |
| 12 | シャッター速度セットリング | 24 | 撮影レンズ |

各部名称



各部名称

- 25 接眼レンズ枠
- 26 接眼レンズ
- 27 フィルム巻戻し用クランク
- 28 裏蓋開閉爪
- 29 三脚取付ねじ
- 30 スプロケットギヤー
- 31 フィルム巻取りスプール
- 32 フィルム巻上げレバー
- 33 フィルム種別指示板
- 34 フィルム巻戻しボタン
- 35 フィルムカウンター窓

- カメラナンバーを控えましょう** 大事なカメラです。忘れないうちにカメラナンバー（カメラ上部のアクセサリースューの所に刻まれています）を手帳や、机の抽出しのへりなどに書いておいて下さい。万一の盗難、紛失などの時の唯一の手がかりになります。
- 愛用者カードはすぐ送って下さい** 引換えに保証書をお送り申し上げます。と同時に、小社発行の楽しい小冊子「写楽祭」を半年間、お手許にお届けします。
- カメラの保存はこうして** レンズ、受光板ファインダー部に指紋をつけないよう。正しい露光、シャープなピントへのさまたげになります。ご使用後は柔く清潔なブラシで軽く埃をはらって下さい。指紋の場合は、洗いざらしの清潔な木綿にアルコールを少量つけて軽く拭きとります。



富士写真フイルム株式会社

東京都中央区銀座西2の3 電話 東京 (561) 8551・8741(代)

東京支社 東京都中央区銀座西1の1先
高速道路紺屋区路下室2階 電話 東京 (561)8551・8741(代)

大阪支社 大阪市東区備後町4の15 電話 大阪 (202) 0 2 3 1 (代)

名古屋出張所 名古屋市中区南伊勢町2の8 電話 名古屋(24) 4 4 4 7 ~ 9

福岡出張所 福岡市行町54 電話 福岡(2) 1 1 2 6 ~ 8

札幌出張所 札幌市大通り西5の11 大五ビル内 電話 札幌(2)2002・5582・8783

サービスステーション
富士フォトサロン 東京都中央区銀座西5の4 電話 東京 (571) 8 0 1 7

サービスステーション
大阪富士フォトサロン 大阪市東区備後町4の15 電話 大阪 (202) 0 2 3 1 (代)